

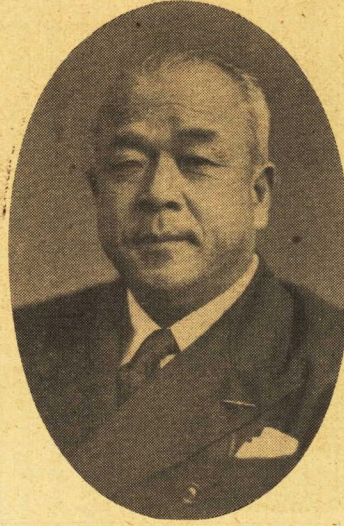


建設事業の推進と

社会福祉の増進に努力

予算で鈴木市長が強調

三月市議会定例会は、さる七日召集されましたが、鈴木市長は議会の冒頭約一時間十分わたって昭和三十四年度の施政方針を述べ、その所信をひげしました。



鈴木市長の演説の様子

34年度施政方針

昭和三十四年度を迎えるに当り、進められ、このようにやくその成果を、私の所懐と予算編成方針とを、を期し得る段階に至つたと考え

併により、都市形成の基礎が定まりました。その上に幾多の建設事業が推

るべきことあり、他方、民間の躍進途上にある姿が具体化せられて、これはひとえに市民各位の熱心な協力によるものと首肯せざるを得ないものと

行政施策の主要 注目される 星崎記念館の建設 完成後は児童文化センターに

市内外、中学校に 薬剤師を配置 栄養生士の身分を確立

強化された本市の財政力 33年度末で赤字を解消

投資的事業を重点に 年間予算を編成

予算編成の方針



